

いちのみや通信

岡山県立
岡山一宮高等学校PTA
(第44号)

コロナ後、活発なPTA活動へ



PTA会長
竹原 和志

皆様方におかれましては日頃より本校のPTA活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和6年度のPTA会長を務めさせていただきます竹原和志と申します。和志と書いて「たかし」と読みます。よろしくお願い申し上げます。

戻しつつあります。今年も昨年に引き続き、PTAの方では銀杏祭文化の部でのバザーを企画しております。昨年度は入場規制がありました。今年を取り除かれフルオープンでの開催予定と聞いております。昨年のオープンスクールに参加できなかった兄弟の方々にも、一宮高校の雰囲気を知ってもらおう良い機会にもなると思います。昨年より大きな規模になると思われまますので、他の役員の方々やPTA評議員の方々をはじめ、PTA会員の方々にも協力を仰ぐところがあるかもしれません。先生方、皆様方のご協力無くして盛会はないと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日頃より岡山一宮高等学校の教育活動並びにPTA活動にご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございます。令和6年4月8日に入学式、第1学期の始業式を行いました。新入生320名が加わって新年度が始まりました。現在は、2ヵ月ほど経ち、新入生も、進級した2・3年生も気忙しさと緊張から少しは解放されたのではないかと感じているところで、これは教職員も同じで、

そして学校について気になることや気がついたことなどがあれば、PTA評議員やPTA役員を通じて意見を挙げていただきたいと思います。もちろん私に直接でも構いません。皆様方の意見が学校をより良くし、結果子ども達にも還元されていくものと信じております。

新年度、気持ちを新たに



校長
甲本 龍平

授業に落ち着いて取り組める時期になってきました。教職員の異動は今年度、それほど多くはありませんでしたが、常勤で転出者は12名、転入者も同数となりました。いよいよ45年目の歴史が動き出しました。入学式、始業式では、生徒に次の二つのことを念頭に置いて過ごして欲しいと伝えました。まず一つ目は、「主体的に学ぶ」ことです。自分が何に適しているのか、自分が本当にやりたい

ことは何なのか。それを探るためにも自らが動き、自ら学ぶ姿勢が大切です。言われることをやるのではなく、まず意味や根拠をしっかりと考えて「主体的」に学んでほしい、そんな気持ちを含めて伝えました。二つ目は、「新しい自分を見つけるために挑戦することです。どんな小さなことでもいいので少し頑張ってみる、挑戦してみる気持ちを持って動いて欲しいと思います。ともかく後悔のない、多くの経験を積める高校時代になることを願っています。本校は「探究の一宮」を掲げています。この本来の

意味は、生徒が主体的に未来の自分を想像しながら探究し、その道を自ら見つけていくこと、そして少しずつの挑戦を続けることで、自ら成長していくこと、言わば、自分自身を探究することを目指して欲しいという気持ちを言葉にしていきます。卒業の時に、自分自身がどれだけ成長しているかを期待して、ぜひ日々の生活も楽しみながら、ワクワクした気持ちで過ごしてもらいたいと思います。ご家庭でもお子様が主体的に挑戦できる場を支えていただけたらと思います。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

令和6年度 PTA行事予定

- 7月4日(木) 制服の譲渡会
- 7月10日(水) 岡山大学訪問(保護者)
- 7月 保護者向け受験懇親会(3年生向け)
- 7月12日(金) 中国・四国PTA連合大会
- 7月12日(金) 高知大会(学外)
- 8月3日(土) 岡山県高等学校PTA連合会会長研修会(学外)
- 8月22・23日 全国高等学校PTA連合大会茨城大会(学外)
- 9月7日(土) 銀杏祭の文化祭バザー
- 10月 校内クリーン大作戦(第2回オープンスクール前に予定)
- 10月23日(水) 第2回PTA評議員会
- 11月 保護者向け懇親会(2年生・1年生向け)
- 11月未定 岡山県高等学校PTA指導者研修会
- 12月 合格祈願カイロの祈禱(吉備津彦神社)
- 2月14日(金) 第3回PTA評議員会
- 2月末 「いちのみや通信」発行

※変更になることがありますので、参加の場合は事前に学校にご確認ください。

今年度の学年目標

1年生 「凡事徹底」

1年学年主任 仲 矢 圭 佑

この度入学しました45期生の学年主任を務めます仲矢です。45期生が入学し、早いもので約2ヶ月が経とうとしています。入学直後は真新しい制服に身を包み、緊張の面持ちで学校生活を送っていた生徒たちも、日々の授業や球技大会等の行事を経て、だんだんと学校生活に慣れてきたように見受けられます。

さて、45期生は「凡事徹底」という言葉を学年目標としました。この言葉は株式会社イエローハットの創業者である鍵山秀三郎さんの言葉だといわれています。他にも多くの人、多くの場面で目標とされている言葉です。

「当たり前前」のことを当たり前にする、そしてそれを徹底して行う」という意味で使われています。高校生にとって当たり前とは何かと考えたとき、どのようなことが思い浮かぶ



2学年 「自ら求める」

2年学年主任 入 江 史 郎

44期生には「自ら求める」をポイントにあげたいと考えます。他人から与えられたことをすることはたしかに大事ですが、何事も好奇心を持って自ら求め続ければ可能性は無限に広がります。

このように思いから学年目標を昨年度に引き継ぎ、「他人から与えられるものは有限であるが、自ら求めるものは無限である。勉強・部活動・課題探究（その他いろいろな行事）を自ら求めて頑張ろう」としています。

卒業を迎えたときに「一宮高校に来てよかった」と思ってもらうことが一番だと考えます。そのためには第一希望の進学先に進むことが大事であると考えます。

ではそのために今現在何をすべきか。生徒に尋ねると「勉強です」と答える人が多いと思います。「勉強が一番大事ですが、それだけですか」と聞きたいです。「次に部活動です」と答えるでしょう。

か。一宮高校はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校で普通科も理科も課題探究がありま す。それも頑張ってもらいたいです。それだけではありません。ボランティア活動もあります。体験授業もあります。また本校はユニスコスクール加盟校です。いろいろな行事がたくさんあります。これらのすべてを自ら求めて頑張ってほしい。自ら求めれば無限の可能性があります」

このように伝えたいです。そうした思いで「勉強・部活動・課題探究（その他いろいろな行事）を自ら求めて頑張ろう」を学年目標にしました。

に、課題探究で忙しくなつたときは課題探究に、時間をかける割合はかわるとは思いますが。大事なものは何かをあきらめるのではなく、うまくバランスをとって何事にも挑戦する姿勢です。現在の大学入試は多種多

3年生 進路実現のための目標

3年学年主任 川 相 雅 裕

3年次の学年目標としては、以下の3つを決めています。

- ① 適切な自己理解に基づく 志望校の決定
- ② 進路実現に向けた学力の向上
- ③ 社会人として必要な自立心と協同性の育成、

いずれも進学校に在籍する高校生としては軸となる目標だと考えています。もしかすると私たち親世代の高校時代の目標だったとしてもおかしくはないかもしれません。

大きく変化する社会情勢に対応して、入試制度も多様化が進み、情報を含めた新たな教育課程が設定されるなど、私たちが経験した受験環境から大きく変化し

様です。この多種多様な入試に立ち向かうには、勉強だけでなく、部活動・課題探究・その他いろいろな行事を経験することが非常に大事です。この時期にしかできないことを自ら求めて挑戦してほしいのです。

ています。しかし、自分の進路を自分で決定し、その実現のために努力を積み重ねること、学校行事やクラスメイトとの交流の中で社会性、協調性を身につけていくこと、これらは時代が変化しても高校生として身につけるべき資質として変わらないものだと考えています。

生徒たちは、この時期に多くの事に悩みながらも、着実に成長していきま す。私たちもその過程を保護者の方と共有し、ともに成長していきたいと考えています。どうぞよろしくお願います。

